

令和7年度職員採用試験（第2回社会人経験者）

林業 専門記述試験

＝ 課 題 ＝

○森林、林業、木材産業の取組について

我が国は、森林が国土の約3分の2を占める森林大国で、世界全体では森林減少が続いている中、70年以上にわたってその面積・割合は維持されてきています。その森林の約4割が人工林であり、終戦直後や高度経済成長期に造林されたものが多く、その約6割が50年生を超え、本格的な利用期を迎えています。

広島県においても、県土面積の約7割を森林が占め、そのうちスギ・ヒノキの人工林は約15万ヘクタールで5割以上が主伐適期に達しており、森林資源の持続的な利用を確保していくためには、適正な伐採と再造林を着実に進めていくことが求められています。

このため、県では、経営力の高い林業経営体により50年サイクルで年間40万立方メートルの県産材が安定的に生産される持続的な経営を目指すとともに、将来にわたって年間40万立方メートルの県産材が、生産から流通、加工・利用まで効率的に流れ、社会において有効な資源として利活用される姿を目指して取組を進めています。

また、近年、豪雨等による大規模な災害のリスクが懸念される中、県民の安全・安心の確保を図り災害から県民を守るため、治山施設の整備に加え適正に森林を管理していくことが大変重要となっており、計画的・重点的な治山施設の整備を進めるとともに、森林の持つ公益的機能を維持・発揮させるための森林整備に取り組んでいます。

そこで、次の①～③の項目のうちから2つを選択し、項目ごとに示したキーワードを使用して、その項目についての現状及び課題と、行政が取り組むべき具体的な方策について、あなたの考えをそれぞれ述べなさい。

（次頁あり）

【項目及びキーワード】

※ 項目①～③のうち2つを選び解答すること。

※ 解答にあたっては、各項目で2つ以上のキーワードを使用してください。

① 再造林の着実な実施について

(キーワード)

- ・ 2050年ネット・ゼロ
- ・ 再投資の意欲
- ・ 一貫作業
- ・ 低密度植栽
- ・ コウヨウザン

② 木材の利用促進について

(キーワード)

- ・ 低層住宅
- ・ 非住宅建築物
- ・ 木造化・木質化
- ・ 直交集成板 (CLT)
- ・ 設計者の育成

③ 山地災害防止について

(キーワード)

- ・ 山地災害危険地区
- ・ 構造物
- ・ 植栽工
- ・ 手入れ不足の人工林
- ・ 災害に強い森づくり

【解答にあたっての注意事項】

※ 解答用紙の「課題」欄には、「森林、林業、木材産業の取組について」と記載し、選択解答の項目番号①～③と項目名は、解答本文の書き出しに次のとおり記載した上で、解答してください。

例

① ○○○について

(解答) …